

第3期

うきは市地方創生総合戦略



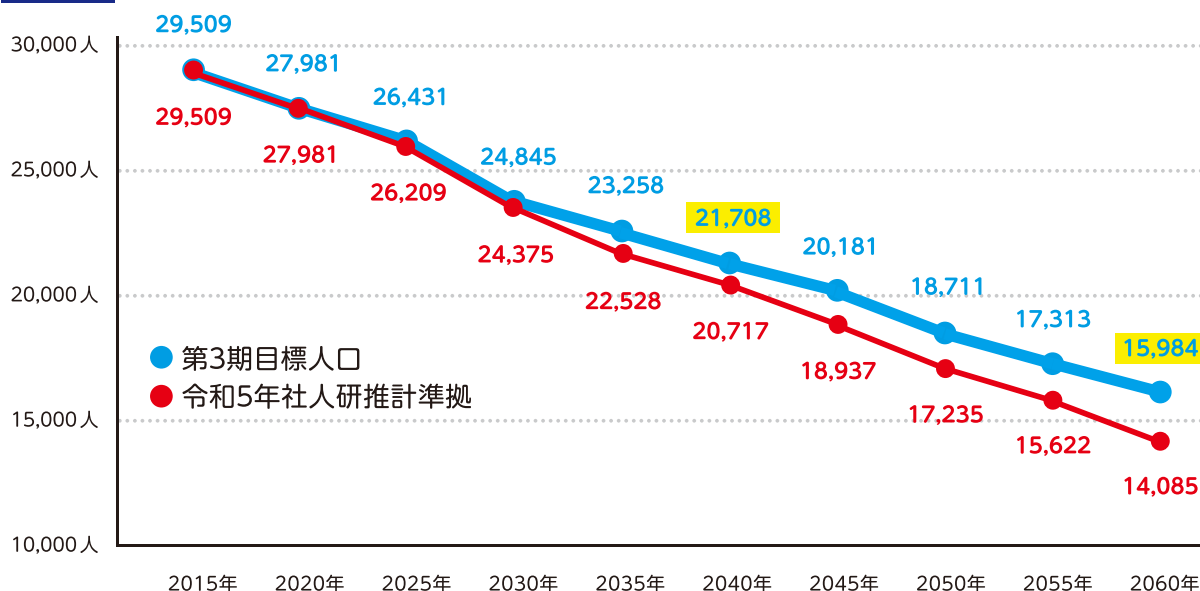
人口の将来展望

第2期うきは市地方創生総合戦略では、人口ビジョンとして「2040年に約21,000人、2060年に約15,000人の確保を目指す」としていました。

直近の国勢調査の結果と社人研の推計では、うきは市の将来人口は2040年に20,717人、2060年に14,085人と予想されています。

第3期うきは市地方創生総合戦略では、積極的な人口減少対策を展開し、2040年に約22,000人、2060年に約16,000人の人口規模を目指すこととし、前回目標から上方修正した目標人口を掲げるものとします。

図表 1 目標人口と社人研推計の比較



図表 2 目標人口と社人研推計の推移

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
平成25年社人研推計準拠	30,375	29,082	27,679	26,237	24,757	23,225	21,685	20,226	18,860	17,542
第1期目標人口	30,826	29,958	28,973	27,943	26,861	25,765	24,684	23,695	22,826	22,043
平成30年社人研推計準拠	29,509	27,397	25,280	23,159	21,050	18,979	17,003	15,194	13,545	12,007
第2期目標人口	29,509	27,795	26,054	24,401	22,695	20,968	19,306	17,754	16,332	14,995
令和5年社人研推計準拠	● 29,509	27,981	26,209	24,375	22,528	20,717	18,937	17,235	15,622	14,085
第3期目標人口	● 29,509	27,981	26,431	24,845	23,258	21,708	20,181	18,711	17,313	15,984

2040年に約22,000人、2060年に約16,000人の確保を目指します。



総合戦略の概要

(1) 基本的な考え方

① 戦略策定の目的

うきは市では、これまでの第2期うきは市地方創生総合戦略の取組の成果と課題を踏まえ、人口減少や少子高齢化、地域経済の縮小などの深刻化する地域課題に対応しつつ、市民が安心して暮らし続けられる持続可能な地域社会の実現を目指して、第3期うきは市地方創生総合戦略を策定します。

本戦略は、「地方創生 2.0」の理念を踏まえ、地域資源の再評価と活用、デジタル技術の導入、地域内外の多様な主体との連携を通じて、うきはらしい活力と魅力を創出することを目的としています。

また、第3次うきは市総合計画の基本構想・基本計画と一体的に策定することで、総合的な政策体系の中で人口減少対策を中心とした実効性ある取組を推進し、「強く・豊かで・新しい・楽しい」地方の実現を図ります。

② 計画期間

令和8年度～令和12年度の5年間とします。

③ 策定にあたっての留意点

本戦略の策定にあたり、次の4点を重視します。

第1に、現場に根ざした実効性のある施策体系とすることです。第2期うきは市地方創生総合戦略では、多くの事業が一定の成果を上げた一方で、地域経済や移住定住、若者支援などの分野で今後も取組を継続すべき課題も明らかになりました。こうした課題を踏まえ、成果が見られた取組は深化させ、課題が残る分野は新たなアプローチを導入します。

第2に、DXやGXが進展する新時代への適応です。市役所や市議会におけるデジタル化の推進や市民サービスのDX化を通じて、行政の効率化と利便性向上を両立させます。

第3に、市民共創による地域経営を基本とします。市民や事業者、NPOなど多様な主体が連携し、自ら考え行動するまちづくりを推進します。こうした共創型の取組のもと、うきは市の豊かな自然、農業、文化を次世代へ継承し、地域への誇りと愛着を高める基盤となります。

第4に、若者や女性にも選ばれるまちになることです。今の若者世代だけでなく、将来のうきは市を担うこどもたちや多様な視点や経験を持つ人材にも目を向けて、人々が暮らせる場所として選ばれ続けるには、職場を含む地域社会で彼らを受け入れ、多様な人材を活かすことが求められます。

④ 検討・推進体制

① 検討体制

本戦略を策定するにあたり、庁内組織として「うきは市総合戦略検討本部」を設置し、全体的な方向性を検討するための「本部会」を置きます。

また、産官学金労言の分野代表と市民代表から構成される「うきは市ルネッサンス戦略推進協議会」を設置し、総合戦略に対する意見を反映させて、戦略の方向性や具体的な案について検討を行います。

また、議会との連携を図り、本議会や委員会での審査と報告・協議の場での意見交換を通じて検証を行います。

② 推進体制

戦略の実施にあたっては、行政だけでなく、市民や各種団体、企業等が積極的に関わってくることが求められます。

事業の実施やPDCAサイクルによる事業管理を行う際には、KPIの検証や事業の進捗状況などをうきは市ルネッサンス戦略推進協議会に報告し、本戦略の推進を図ることとします。

(2) 総合戦略の検証

第2期うきは市地方創生総合戦略（令和3年度～令和7年度）では、「うきはの資源活用と新たな雇用の創出」「地域コミュニティの再生と人の呼び込み」「結婚から子育て・生涯夢を持てるうきは」「広域連携と新たな地域づくり」の4つの基本目標のもと、13のプロジェクトを展開しました。

この間、地域資源を生かしたブランド化のほか、新型コロナウイルス感染拡大により、自宅から1～2時間圏内の近場をめぐるマイクロツーリズムでの観光客の増加、さらには、健康づくりやデジタル化の進展などで一定の成果が見られ、うきは市として地域外への発信力も高まりました。

一方で、地域産業の担い手不足や空き家の進展、災害対応力の強化など、持続的な地域運営に向けた課題も明確になりました。

第3期うきは市地方創生総合戦略では、こうした成果と課題を踏まえ、次の5年間で「地域の力を結集し、成長と安心を両立させるステージ」と位置づけ、地域の強みを最大限に生かした地方創生を推進していきます。

(3) 施策の体系

次の4つの基本方針のもと、うきはらしさを磨き、未来へつなぐ4つの方針を掲げ、新たな事業展開をしていくこととします。

基本方針 01 地域の力でつくる・稼ぐうきは

- 1-1 若者参画による農林商工業振興
「うきはワークチャレンジ」
- 1-2 地域産品の魅力創出
「うきはブランド戦略」
- 1-3 地域資源 × 体験観光
「うきは五感旅プロジェクト」

基本方針 02 人と地域がつながり続けるうきは

- 2-1 地域魅力体感
「うきはまち住み・旅住体験」
- 2-2 空き家再生と交流拠点整備
「まちの縁側プロジェクト」
- 2-3 関係人口創出
「うきはローカルワーク参加促進」

基本方針 03 こどもを真ん中に育て合ううきは

- 3-1 結婚と出産支援
「うきは縁むすびサポート」
- 3-2 地域ぐるみの子育て支援
「うきは子育てネット」
- 3-3 教育・夢育成
「うきはこども未来ラボ」

基本方針 04 しなやかで持続可能なうきは

- 4-1 スマートうきは構想
「デジタル共創まちづくり」
- 4-2 安全・安心の備え
「うきは防災力アップ計画」
- 4-3 共に生きる社会へ
「うきは多文化共生プラン」